

2019年 安全報告書



天竜浜名湖鉄道株式会社

I. ごあいさつ

日頃から、天竜浜名湖線をご利用いただくとともに、弊社の運営にご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

弊社は2011年8月の遠州天竜舟下り転覆事故を教訓として、「安全・安定した列車運行の継続」を経営方針の最上位に掲げ、安全管理体制や安全教育訓練の再構築、設備投資計画の着実な推進など、社員一同が全力でお客様の信頼確保に努めるとともに、日頃の鉄道運行の安全対策を行ってまいりました。

しかしながら、2018年度は複数の自然災害によって、例年になく多くの列車を運休することとなってしまい、利用者の皆さまには多大な御迷惑をおかけしました。誠に申し訳ございませんでした。

弊社では、鉄道事業者の最大の責務である、安全で安定した列車運行を確保・継続するため、これまで以上に鉄道施設・設備の更新、保守管理及び社員のスキルアップ並びに安全意識の向上・徹底に努めておりますので、引き続き天竜浜名湖線をご愛顧いただきますよう、よろしくお願いいたします。

さて、この報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、2018年度の弊社における輸送の安全にかかわる情報を皆様に公表させていただくものです。安全輸送を維持するために、そして、地域の皆様に愛され、親しまれる存在になるために、皆様の率直なご意見やご感想をいただければ幸いです。



天竜浜名湖鉄道株式会社
代表取締役社長 長谷川 寛彦

II. 安全確保のための基本方針と重点施策

1. 弊社では、これまで、利用者の皆様方が、利用しやすく、交通弱者にやさしく、安心してご利用いただけるよう「安全」「正確」「共存」を社是として定めて、会社運営にあたってまいりました。

運転の安全に関する規範として、綱領を次のとおり定めております。

- 一. 安全の確保は、輸送の生命である。
- 二. 規程の遵守は、安全の基礎である。
- 三. 執務の厳正は、安全の要件である。

2. 2018年度において、2019年度から5年間の経営計画を策定いたしました。この計画では将来にわたって、安全・安定した列車運行の確保・継続の実現を目指しており、施設や設備の計画的な整備・維持補修に努めることとしております。

この計画を策定するため、2018年度は次の安全重点施策の下、取り組んでまいりました。

- (1) 安全・安定した列車運行の確保・継続
- ア. 計画的な設備投資の実施による安全性の確保
 - イ. 計画的な教育訓練の実施
- (2) 長期的な安全対策を推進する次期経営計画の策定

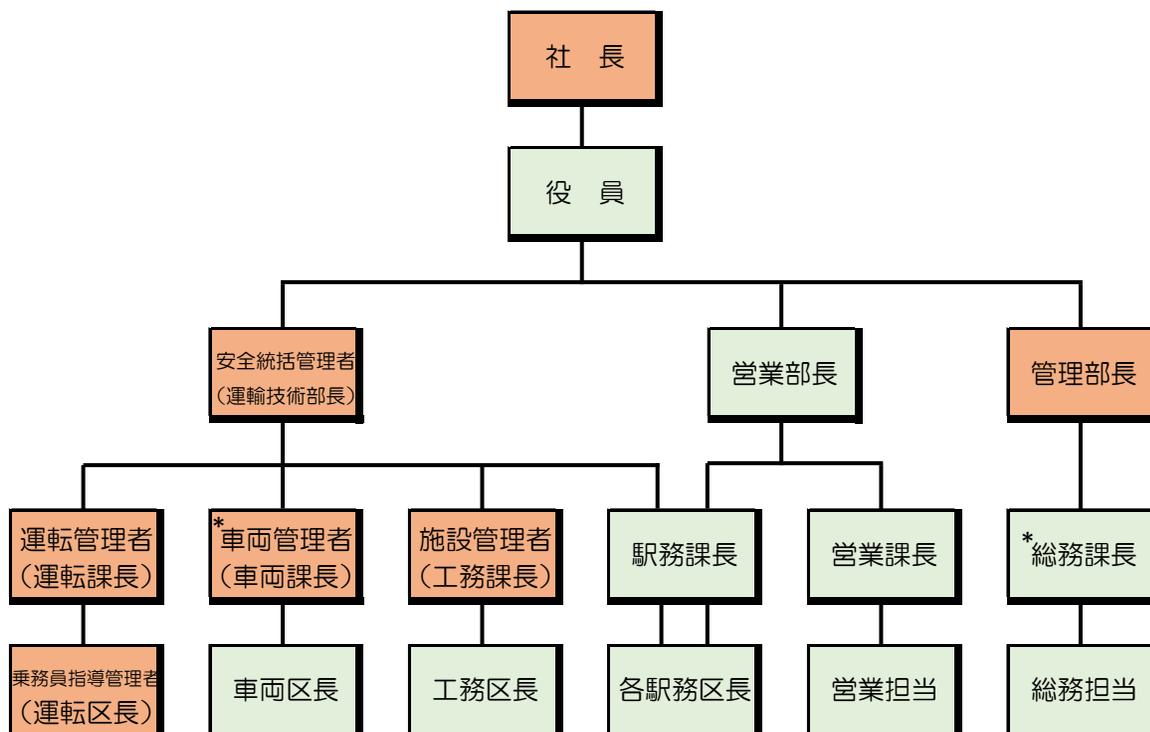
3. 2018年度から安全管理に対する具体的な数値目標を再び「300万km有責運転事故ゼロ」と決めました。但し、今回の目標では、対象範囲を従来の弊社社員のみとしていたものから、工事等関連業者を含む全鉄道係員に広げることで、これまでの目標よりも、より高いものを目指すことといたしました。

* 鉄道係員の責任で発生した列車脱線や踏切障害等の事故

Ⅲ. 弊社の安全管理体制

弊社の安全管理規程に従い、社長をトップとする下表の安全管理体制を設け運用しております。

役職	役割
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を担う。
安全統括管理者（運輸技術部長）	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
管理部長	輸送の安全確保に必要な投資計画、人員計画等に関する業務を統括する。
運転管理者（運転課長）	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
施設管理者（工務課長）	安全統括管理者の指揮の下、軌道施設に関する事項を統括する。
車両管理者（車両課長）	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者（運転区長）	運転管理者を補佐し、乗務員の資質について維持管理する。



* 上席者が兼務

IV. 輸送の安全確保への取組

2018年度に実施した取組

(1) 安全対策委員会

社長を委員長とする各管理者と現場長による安全対策委員会を開催し、輸送障害の原因分析や教育訓練をはじめとする安全施策の協議を行っております。また、委員会ではPDCA安全管理表により、部門ごとの対応状況を確認しております。



(2) 大規模災害復旧訓練

事故や災害に備えて、全社を挙げて防災訓練を実施しております。2018年度の訓練では、南海トラフ地震の発生による建屋の倒壊や停電を想定し、ディーゼル車両を仮設の対策本部に仕立てて、対策本部の運営をはじめ、旅客の避難誘導、負傷者の救護、火災の消火活動、情報収集などの総合的な訓練を実施するとともに、各係員の役割分担等について確認いたしました。



(3) 工事管理者保安講習

安全で的確な工事管理を推進するため、弊社独自の工事管理者資格制度を設け、管理方法の習得と定期的な講習を関係業者に義務付けております。2018年度は、日本鉄道施設協会から講師を招き、3日にわたる専門的な座学講習と知識・適性の確認を実施いたしました。なお、本講習では関係業者の約120名が受講いたしました。



(4) 踏切事故防止のための啓発活動

春の全国交通安全運動期間中は、街頭広報活動の一環として踏切道及び駅構内において踏切通行者や鉄道利用者に対し、一旦停止や左右の安全確認等を呼びかけるなど、踏切事故防止の啓発活動を行いました。

(5) 内部監査

安全輸送に関する適正な業務執行を徹底させるため、2018年12月に常勤監査役と内部監査員に指名した社員による内部監査を実施いたしました。

(6) 年間計画に基づいた教育訓練

業務の安全管理に関する社員力の向上を図るため、安全統括管理者が年間の教育訓練計画を策定し、その計画に基づいて、基本作業の習熟や災害発生時の行動に関する実践的な教育訓練を行うほか、各種協会等が実施する外部研修会の受講を積極的に推進しております。教育訓練の実施状況については、月毎の定例会議で進捗状況を確認しております。2018年度に実施した教育訓練の一例を以下に記載いたします。

○外部研修（運輸技術部）

部外研修として2018年度は、遠州鉄道株式会社様のご厚意により、避難誘導及び脱線復旧訓練に弊社の社員が参加させていただきました。



○基本教育（車両区）

車両区では、技能訓練だけでなく、各種法令に基づく確実な検査を実施していくため、法令や自社規程を理解するための座学講習を行いました。



○異常時訓練（工務区）

工務区では、保守作業用としてモーターカーを保有しておりますが、異常時に備え迅速な活動が行えるよう、取扱訓練を実施いたしました。



(7) 中部運輸局による年末年始安全総点検の実施

2018年12月、国土交通省中部運輸局の職員による年末年始の輸送等に関する安全総点検の現地査察が実施されました。総点検では、期間中における弊社の取り組みや、乗務員の点呼執行状況、9月に発生した法面崩落現場の状況などが確認されました。



V. 2018年度の運転事故・輸送障害等に関する報告

2018年度は、運転事故および、インシデント（事故の兆候）はありませんでした。輸送障害については、自然災害10件、鉄道外の要因2件、車両関係2件の合計14件が発生いたしました。

2016～2018年度における運転事故、インシデント、輸送障害の発生件数

区分	2016年度	2017年度	2018年度
運転事故	2件	0件	0件
インシデント（事故の兆候）	0件	0件	0件
輸送障害	16件	16件	14件

※輸送障害とは、運転事故以外で運休や30分以上の遅延が生じたものです。

○主な輸送障害の概況

- ・2018年5月13日発生：鉄道外（動物）
 遠江一宮駅のポイント故障により、信号機が使用不能となった。調査したところ、信号ケーブルが小動物にかじられた形跡があり、これにより断線し故障に至ったことが判明した。この影響により、上下13本の列車が運休した。
- ・2018年7月28日発生：自然災害（風害）
 台風12号の影響により、夕方から強風となり運転規制となった。以降、さらに強風が予想されたことから終日運転を見合わせることにした。
 翌日、始発前の線路点検を実施したところ、数箇所倒木が確認されたため、伐採処置をして昼頃、全線で運転が再開された。この台風により、2日間で上下43本の列車が運休した。
- ・2018年9月4日発生：自然災害（風害）
 台風21号が接近し強風が予想されたことから、昼から順次列車の運転を取り止めた。翌朝より線路点検を実施し、倒木処理等を行い運転を再開した。この影響により、2日間で上下67本の列車が運休した。
- ・2018年9月11日発生：自然災害（水害）
 上り列車の運転士が、線路脇の法面が崩落していることを確認し停車した。調査した結果、運行不能と判断し宮口駅～金指駅間をバス代行輸送に切り替えた。14日夕方に応急復旧し、翌15日の始発列車より、運転を再開した。この間、上下173本の列車が運休した。



・2018年9月30日発生：自然災害（風害）

台風24号が接近し強風が予想されたことから、夕方から順次列車の運転を取り止めた。その後、沿線のほとんどで広域停電が発生した。同時に、強風の影響で全線に渡り倒木などによる線路支障や施設障害が多数発生した。倒木処理が済むも、広域停電により信号システムが運用できず、列車の運転再開には至らなかった。翌月3日より停電の回復したエリアから運転を再開し、全線の運転再開は4日の始発列車からとなった。この影響により、4日間で上下266本の列車が運休した。



VI. 施設整備・保守検査等の計画的な取組

鉄道軌道安全輸送設備等整備事業などの補助を得て、以下の施設整備、保守検査を行いました。整備額は261,231千円で、施設整備関係が189,706千円、車両関係が71,525千円でした。

区分：設備改修	整備内容
線路設備	<ul style="list-style-type: none"> ・レール、PCまくら木交換 ・分岐器交換
	
PCまくら木交換	分岐器交換

区分：設備改修	整備内容
線路設備	<ul style="list-style-type: none"> ・落石防護設備改修 ・トンネル改修 ・橋りょう改修 ・排水路改修など
 <p>落石防護設備改修</p>	 <p>トンネル改修</p>
 <p>橋りょう改修</p>	 <p>排水路改修</p>
区分：設備改修	整備内容
信号保安設備	<ul style="list-style-type: none"> ・しゃ断機交換 ・踏切器具箱更新など
 <p>しゃ断機の交換</p>	 <p>踏切器具箱の更新</p>

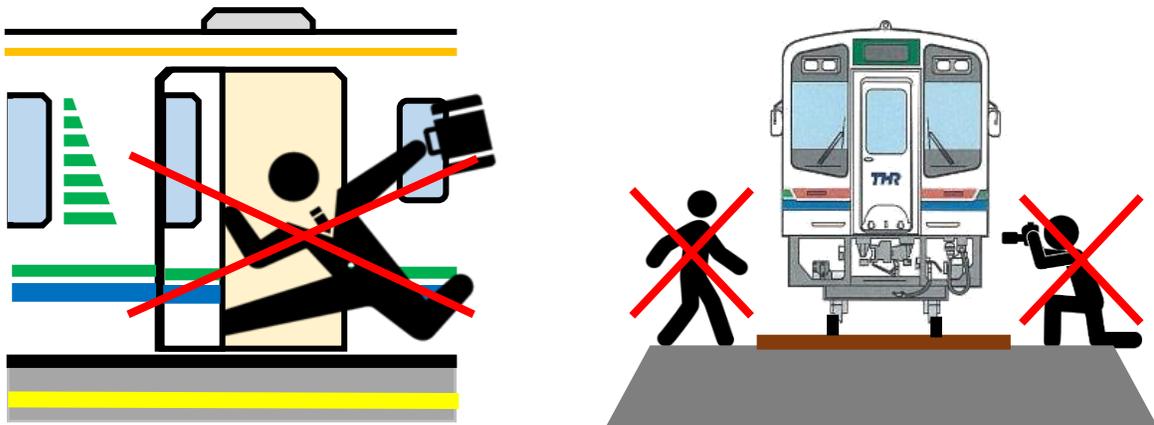
区分：車両検査	整備内容
検査修繕	<ul style="list-style-type: none"> • 全般検査（計3両） • 重要部検査（計1両） • 車輪削正（計4両）
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="217 394 767 802">  <p>全般検査によるエンジン分解</p> </div> <div data-bbox="799 394 1350 802">  <p>全般検査によるトルクコンバータ分解</p> </div> </div>	
区分：その他	整備内容
保全・保守点検	<ul style="list-style-type: none"> • 軌道整備、沿線の除草薬散布 • 電気設備保全点検など
その他工事等	<ul style="list-style-type: none"> • 駅舎や架道橋の修繕、土留の設置 • 支障木の伐採など
<div style="display: grid; grid-template-columns: 1fr 1fr; gap: 10px;"> <div data-bbox="217 1084 767 1492">  <p>軌道整備</p> </div> <div data-bbox="799 1084 1350 1492">  <p>除草薬散布</p> </div> <div data-bbox="217 1521 767 1930">  <p>架道橋修繕</p> </div> <div data-bbox="799 1521 1350 1930">  <p>支障木伐採作業</p> </div> </div>	

VII. ご利用の皆様・通行される皆様にお願



事故防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- 駅構内の通路では、警報機が鳴ったら渡らないでください。
- 駆け込み乗車は危険です。余裕をもってホームで列車をお待ちください。
- 線路内には、立入らないでください。大変危険です。
- 踏切では、必ず一旦停止をし左右をよく見てから渡りましょう。
- 大型自動車や荷物を積んでガードをくぐるときは、高さ制限に注意してください。



VIII. 問い合わせ先

安全報告書へのご意見やご感想は、下記までお寄せください。

〒431-3311

静岡県浜松市天竜区二俣町阿蔵114-2

天竜浜名湖鉄道株式会社

TEL 053-925-6125

(土曜・日曜・祝日を除く、9:00~17:00で受付)



のどかな田園風景と奥浜名湖を巡る天浜線

